

第1回教育問題懇話会における協議事項の意見集約

1 「学校生活を通して、子どもたちに、こういう大人に育って欲しい」という理想

- ・多くの体験や経験を通して、努力することの大切さや、感謝の心を持つことができる大人
- ・夢や希望を持って社会で活躍できる大人
- ・達成感を味わい、挨拶がしっかりできる大人
- ・視野を広く持てる大人
- ・視野を広く持てるように、多くの人と交流でき、ヒントを得ながら、グングン成長できる大人
- ・伊東を好きになる大人
- ・自己肯定感の高い大人
- ・社会性（社会の中で起きる問題や課題に対応できる力）を持ったたくましい大人
- ・それぞれの人が大切にしているもの、そうではないものをしっかり分かる大人
- ・自分も大切に、相手も大切にできる大人

2 「その理想像に必要なだと考える教育環境」

- ・子どもが何をするにもやむを得ず諦める状況にならない教育環境
- ・何かあったときに、その子が逃げる場所がある教育環境
- ・多くの体験や経験を通して、努力することの大切さや、感謝の心を育むことができる教育環境
- ・学校、家庭、地域が一体となった連携と協働ができる教育環境
- ・子どもをいつも中心に置く教育環境
- ・各学校のグランドデザイン、その学校の強みを全面に出す教育環境
- ・社会に出たときに様々な課題や問題に対応できる力を養う教育環境
- ・ある程度の学校規模の中で人間関係にもまれ、たくましい人間になることができる教育環境
- ・子どもの将来的な利益を基準、中心に考えていく教育環境
- ・社会性（社会の中で起きる問題や課題に対応できる力）を育成できる教育環境
- ・子どもたちが健やかに成長していく教育環境
- ・各学校、各地域の独自性や地域性を大切する教育環境
- ・学びの場と活動の場を担保できる教育環境
- ・大人の都合ではなく、子どもを中心にした、子どもにとっての学びの場と活動の場が担保できる教育環境
- ・地元を好きになる教育環境
- ・いろいろな人と接することにより、子どもたちの経験できるものが広がる教育環境
- ・学校に行くことができなくなった子どもにも学びの場を維持できる教育環境
- ・子どもの自己肯定感を上げる教育環境
- ・ある程度の人数の確保ができていて、少しずつでも変えられるような規模感のある教育環境
- ・子どもの幸せと健やかな成長が目に見える教育環境
- ・子どもたちに必要な最大の教育環境を作るために、素晴らしい先生がたくさん集まる教育環境